



NEWS

FUKUE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

福江商工会議所ニュース



2024 五島長崎国際トライアスロン大会 6月23日(日)開催される!!



鍛え上げられたアスリートたちの感動の戦いが繰り広げられました。
(写真はイメージです。)

イベントのお知らせ

五島列島夕やけマラソン・・・8月24日(土)開催

ゲストランナー 野口みずきさん ※参加者募集中!!

本誌の主な内容

- 令和6年度 福江商工会議所通常議員総会の終了
- 第3回五島版RE100認定証授与式のご報告
- 第51回地元就職者激励大会開催のご報告

- 日本商工会議所の広報サービス
 - 中小企業のためのDX事例
 - 魂に響く書
- 福江商工会議所青年部(福江YEG)会長所信

— 福江商工会議所情報発信中 —

- 福江商工会議所ホームページ <http://www.fukue-cci.org/> ●福江商工会議所Facebook
- 福江商工会議所は、docomo無料wi-fiがご利用可能です。

皆様のご意見、ご要望がありましたらお寄せください。

令和6年度 福江商工会議所通常議員総会の終了

- 1 日 時 令和6年6月17日（月曜日） 16時00分より
- 2 場 所 観光ビルはたなか3階（五島市中央町7-20）
- 3 出席者 50名（本人出席26名、委任状出席24名、事務局2名）
- 4 報 告 上記日程及び会場にて令和6年度福江商工会議所通常議員総会を開催、令和5年度事業実績報告書(案)及び収支決算書(案)について慎重に審議して頂き、出席者全員の賛同のもと承認可決されました。
- 5 令和5年度事業実績報告書より抜粋



● 地域振興対策事業

(1) 陳情、要望について

福江商工会議所単独及び長崎県商工会議所連合会共同提案

- 1) 日 程 令和5年8月7日(月曜日) 15時00分～15時30分
- 2) 会 場 長崎県庁4階特別室
- 3) 陳 情 先 長崎県知事 大石 賢吾
- 4) 陳情内容

No.	提出議案	提出商工会議所
1	中小企業・小規模事業者対策支援の強化について	県内共同
2	九州新幹線西九州（長崎）ルート of 全線フル規格化について	県内共同
3	佐世保市への特定複合観光施設（IR）区域認定の実現について	県内共同
4	観光振興について	県内共同
5	製造業の振興について	県内共同
6	商店街等の活性化対策の推進について	県内共同
7	公共工事の拡大と地元企業への優先発注について	県内共同
8	県北地域道路網の整備促進について	佐世保・大村・平戸・松浦
9	県央地域道路網の整備促進について	諫早・大村
10	長崎市域道路網の整備促進について	長 崎
11	島原半島活性化対策としての地域高規格道路の整備促進について	島原・諫早
12	地域高規格道路・有明海沿岸道路の延伸区間（鹿島市～太良町～諫早市）の早期事業化について	諫早・島原
13	空港の利用促進について	福 江
14	五島つばき空港への航空機給油施設の設置とビジネスジェットの駐機場整備について	県内共同
15	港湾機能の整備促進について	福 江
16	「浮体式洋上風力発電」建設に伴う漁礁設置について	佐世保
17	石木ダムの建設促進について	県内共同
18	島原・天草・長島架橋の建設促進について	長崎・大村
19	大村湾架橋の早期実現について	松 浦
20	鷹島神崎遺跡の保存と活用について	佐世保・大村
21	基地政策の強化について	福 江

● 福江商工会議所の要望及び長崎県の回答について

No.14 五島つばき空港への航空機給油施設の設置とビジネスジェットの駐機場整備について長崎県の回答（地域振興部 地域づくり推進課・交通政策課、土木部 港湾課）

五島つばき空港への給油施設等の整備については、現在、五島市をはじめ、地元関係団体の皆様により、給油施設等を含め、空港を活用した地域活性化について検討を進められている。

県としても、引き続き、五島市との調幣会議等の場にも参加するなど、一緒になって研究してまいります。

No.15 港湾機能の整備促進について長崎県の回答

第5号防波堤延伸の早期事業化（土木部 港湾課）

平成17年6月定例会において、5号防波堤の延長に関する請願書が提出されたことを受け、荷役作業の支障状況を把握するため、船社等に対し、荷役状況の報告を受けているが、防波堤延伸の必要があるような報告内容はなかったため、今後も船社への状況確認を行いながら、必要性の検討をしていく。（船社；五島汽船、五島運輸、野母商船、九州商船）

大型観光船、緊急時における自衛隊等の接岸可能な岸壁の整備促進（土木部 港湾課）

岸壁整備を行う場合、通常時の港湾活動で利用される船舶をもとに施設規模を決定することとなっており、大水深の岸壁利用の見込みが少ない場合は厳しいものと考えている。

今後のクルーズ船寄港実績などを見極めながら検討していく。

No.16「浮体式洋上風力発電」建設に伴う漁礁設置について長崎県の回答（水産部 漁港漁場課）

洋上風力発電の浮体については、これまで県が行った調査でも、浮魚礁的な集魚効果を一定発揮できるものとの結果を得ているが、洋上風力発電施設の建設に伴い、操業に影響が出る場合の対策については、一義的には事業実施者が検討するものと考えている。なお、漁場整備については、従前のおり地元の意見を伺いながら進めてまいりたい。

(2) 令和5年度 再生可能エネルギー・五島版RE100視察実績【視察関係】

1. 報 告

五島市再生可能エネルギーの利活用において、商工会議所内に設置した「五島版RE100認定委員会」を開催し脱炭素化を取り入れた企業に対し認定証を授与し、各報道機関へ周知するとともにPR等を行い、会社のイメージや取引拡大を目指せるよう支援を行ってきました。

これらの活動に伴い全国の様々な行政視察などが本年度もあり実施され視察に伴って交通、宿泊、飲食など観光関連事業の一役を担っております。

2. 視 察 8団体

3. 来 島 者 102名

(3) 令和5年度 再生可能エネルギーツアー実績【各種団体及び事業所関係】

1. 報 告

浮体式洋上風力発電施設をはじめとする再生可能エネルギーツアーを数年前より構築、全国各地よりツアー参画を頂いており令和5年度実績は下記のとおりであります。

2. 参加団体 110団体

3. 参加人数 1,081名

※ 参加詳細については別紙参照（※(一社)五島市観光協会資料より抜粋）

2024年3月19日現在

令和5年度再生可能エネルギーツアーに関する受入実績

1 実績について

2023年度	団体数	人数	平均人数	船舶（片道×	航空機（片道×
4月	9	47	5.2	0	94
5月	9	79	8.8	14	144
6月	9	59	6.6	0	118
7月	10	84	8.4	22	146
8月	5	61	12.2	84	38
9月	9	115	12.8	96	134
10月	14	149	10.6	58	240
11月	18	211	11.7	66	356
12月	4	35	8.8	9	61
1月	8	70	8.8	8	132
2月	3	31	10.3	4	58
3月	12	140	11.7	72	158
合計	110	1,081	115.8	433	1,679
		3月実績は既算			

第3回五島版RE100認定証授与式のご報告

去る5月15日（水曜日）観光ビルはたなか3階において第3回五島版RE100認定証授与式を五島市長野口市太郎氏をはじめ多くのご来賓及び報道陣を招いて開催、今回の事業は、福江商工会議所（長崎県五島市会頭：清瀧誠司）は、2021年度より取り組みを進めている『五島版RE100』において、新たに13事業者・団体が賛同し、各事業者・団体が使用する電力について今後5年以内に五島産&再生可能エネルギー100%とする宣言を行いましたので発表いたします。



今回、新たにCO₂排出削減に取り組むとして福江信用組合、福江空港ターミナルビル、福江商店街連盟、山本二三美術館などが宣言を行いました。また、五島つばき蒸溜所においては、CO₂フリー「GOTOGIN」を製造し、今後、海外展開を目指します。これにより、取り組み事業者・団体は五島市内で40事業者・団体となりました。

● 今回新たに五島版RE100の宣言を行った事業者（※認定申請順）

福江空港ターミナルビル株式会社	福江信用組合	株式会社ダウタウン
フラワーショップMiyamoto本店	有限会社有川喜石材店	有限会社スギ・コーポレーション
鉄板居酒屋 Teppei	山本二三美術館	山口商会
株式会社五島つばき蒸溜所	福江商店街連盟	有限会社五島メンテ
有限会社もり塗装工業		

引き続き、福江商工会議所では、『五島版RE100』参加事業者・団体を増やすための取り組みを進め、五島市内事業者ならびに地域経済の発展に貢献していきます。

第51回地元就職者激励大会開催のご報告



令和6年6月13日（木曜日）11時15分よりカンパーナホテルにおいて福江商工会議所主催による地元就職者激励大会を五島市長野口市太郎氏をはじめ多くのご来賓のご臨席の中開催致しました。

主催者を代表致しまして清瀧会頭より『五島を愛し、職場を愛し、仲間たちへ愛を広げて新しい社会を作り上げ、10年後20年

後に五島の経済を支える社会人になってください。』などの地元就職者の皆様に対して温かい労いの挨拶を述べられた後、地元就職者を代表して五島市役所勤務の中里一呂さんが地元就職に対しての誓いの言葉を高らかに宣言致しました。大会終了後には五島市出身で前長崎市長田上富久氏をお招きして『これからのまちづくり&社会づくり』の演題のもとご講話を頂きました。今後の皆さまの活躍を期待するものです。



田上富久氏講話

「自作システムで挑む町工場の生産管理の最適解」

今回は株式会社タカハシの事例を紹介します。東京の三河島駅前の商店街の中にある従業員5人とパート・内職を合わせて約20人の町工場で、ゴムスポンジワッシャーを月産数千万個も製造しています。同社では具体的な課題として、月末に多くの時間を給与計算や請求業務など社内の処理に費やし、紙での管理では作業忘れが多発していました。注文された製品の生産計画がないため、場当たりの生産管理を行っていたのです。これらの課題を解決するためにIoTツールを自前で開発・導入して現場の状況を把握し、高度な生産管理システムを自社主導で導入しています。生産管理のシステム化について、詳しく見ていきます。

まず特徴的なのは入出力のやり方です。現場に負担がなく、間違いが起きにくいように多くの工夫がなされています。現場での入力は全てバーコードです。材料の置き棚、受注番号、手配書、作業指示、作業実績など現場に必要な情報はバーコードを読み取ることで画面に表示されます。数量変更や一部の追加情報だけは数字入力が必要なので、キーボードもあります。しかしこのキーボードは、テンキーとエンターキーだけを残し、他キーは抜いてフェルトで埋めて「エンターは1回ずつ軽く押してください」というテープを貼り、誤操作が起きにくいものを独自開発しています。

こうしたシステム化の効果としては、給与計算が半日から20分、請求業務も半日から30分弱、月に数件あった作業忘れは0件、納品書発行は1時間から10分と、大幅に短縮、改善されました。またロット管理や各種帳票出力も自動化され、お客さまからの問い合わせにも即答できるようになりました。何より、現場を可視化しデータによる評価基準を設けた結果、誰もが自信を持って仕事に取り組めるようになったことが最大の成果といえます。

進め方も特徴的で、まず社長自身が工程管理システムを自作し、現場が「やりたいこと」「楽しみたいこと」を明確にしました。その後親族と一緒に、データ構造を整理しシステム化する業務範囲を拡張していきました。その取り組みを1年半続けた結果、管理データ体系やマスタ構成などが明確になったので外注しました。システム運用後、さまざまなデータ分析ができるようになったのです。システム上のデータだけでなく、議事録や変更履歴、業務上のイベントなど定性データを融合することで、現場で起きていることを解像度高く把握できて、具体的で効果的な打ち手を講じられるようになりました。（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

ウイングアーク1st株式会社 データのじかん主筆
大川 真史



◇大川 真史／おおかわ・まさし

ウイングアーク1st データのじかん主筆。IT企業を経て三菱総合研究所に12年間在籍し、2018年から現職。専門はデジタル化による産業構造転換、中小企業のデジタル化。オウンドメディア『データのじかん』での調査研究・情報発信が主な業務。社外活動として、東京商工会議所ものづくり人材育成専門家WG座長、エッジプラットフォームコンソーシアム理事、特許庁I-OPEN専門家、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会中堅中小AG副主査、サービス創新研究所副所長など。iLab、リアクタージャパン、Garage Sumida研究所、Factory Art Museum TOYAMA、ハタケホットクなどを兼務。各地商工会議所・自治体での講演、新聞・雑誌の寄稿多数。近著『アイデアをカタチにする！M5Stack入門&実践ガイド』。

魂に響く書

「笑」は心をつなぐ力を持つ。
脳内でストレスを和らげる化学物質を放出させ幸福感をもたらす。
まず、笑いましょう。

書道家
金澤 翔子



◇金澤 翔子／かなざわ・しょうこ

5歳のときに書家である母・泰子に師事し書を始めた。世界的に活躍する日本を代表する書家の一人。ダウン症の書家としても広く知られており、国内の神社仏閣や美術館のほか、ニューヨークやロンドンをはじめとする世界各地で個展や公演を開催している。パチカン市国に大作『祈』の寄贈、NHK大河ドラマ『平清盛』の題字、東京オリンピック公式アートポスターの制作、上皇御製(天皇御在位中)の謹書を担当。2013年には紺綬褒章を受章した。

福江商工会議所青年部（福江YEG）会長所信

令和6年度会長 都々木真一
(福江信用組合)

『一緒に～^{みんな}全員で^{つく}創る^{いま}現在と^{みらい}未来～』

時代は平成から令和に入り早6年目、より良い未来へ変化していくことを願って
いました。

ですが現在思い返してみると、新型コロナウイルス感染症の拡大や原材料高や
円安による物価高騰、毎年のように発生する自然災害など、その変化の多くは望
まない変化であったように感じています。これから先も沢山の变化があること
でしょう。

この変化が通り過ぎるのをただ待つだけでは衰退するばかりですが、私たち福江YEGはこの大
きな変化に対応するべく日々研鑽を重ねております。小さな力でできることは少ないですが、会員
一人ひとりの力、知恵、勇気と情熱を集め一つとすることでこの変化を乗り越える力になると私は
信じています。

私はYEGに入会して15年が経ちました。当初わけもわからず、あまりYEG活動に参加していま
せんでした。

そんな中「一緒にやろう」「一緒に行こう」と声をかけてくれた先輩たちがいました。先輩たち
が卒業されていってからは後輩たちが「一緒にやりましょう」「一緒に行きましょう」と誘って
くれました。

もともとお酒も人付き合いも苦手な私がこれまでYEG活動を続けてこられたのは、ひとえにそ
んな仲間たちのおかげであり、常に感謝の気持ちを抱きながら活動しています。

今期の福江YEGのスローガンを『一緒に～全員で創る現在と未来～』とさせていただきます。
ここでいう全員とはYEG会員だけのことでなく、YEGの礎を築いてくださった先輩方、支えて
くれる地域の方々、理解ある家族、未来を担う子供たち等、YEG活動に関わる全ての人たちの
ことを指しています。

現在の積み重ねが未来に繋がっていくということは言うまでもありませんが、「今これをやれば
先ではどうなるだろう？」逆に「今これをやらなかったらどうなるだろう？」というような、今が
きつかったとしても今の状況だけを考えるのではなく、未来のことを想像しながら今を生きてい
て欲しいと思うのです。

何に対しても消極的な私が会長になるということは全く想像していませんでした。

引っ張ってもらえばっかりで頼りない会長だとは思いますが、福江YEGのみんなと一緒になら未
来へ向かって成長していけると思っております。どうぞ一年間よろしくお願い致します。



**青年経済人として
共に成長しよう
会員募集中!!**

福江商工会議所
TEL.0959-72-3108
担当：平野